



学校だより

～特別号～

後期 学校アンケート結果について

令和4年3月22日
京都市立明徳小学校
校長 服部 菊
TEL:075-701-0111
FAX:075-701-0112

後期学校アンケートにご協力ありがとうございました。今回からWebでご回答いただくシステムに変更しました。「手軽に回答できる」と歓迎していただいた一方で、回答率は、マークシートで行った前期アンケートに及びませんでした。担任からお声かけしするのに対して一回のリマインダーメールをお送りするだけでは、つい忘れ去られてしまう結果となってしまったのかもしれません。また、従来のマークシートでもご回答いただけるように準備していましたが、そのお申し出はありませんでした。こちらも周知が不十分であったかもしれません。今後少しでも多くのご回答がいただけるように工夫してまいります。

後期アンケートも前期と同様に「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」「開かれた学校」の4観点から保護者と教職員へは16項目を実現度と重要度を、児童には15項目の実現度をおたずねしました。

資料の中の数値について(以下のように算出しています)

よくできている … 「7」 大体できている … 「5」

あまりできていない… 「3」 できていない … 「1」

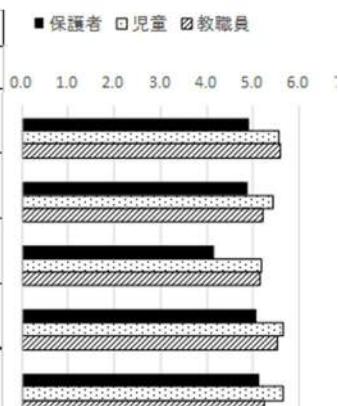
回答人数をかけて総計を回答者数で割り、平均を出しています。

「4」が中間値となり、「5」を超えていると概ね「できている」と判断してよいと考えています。

【確かな学力】

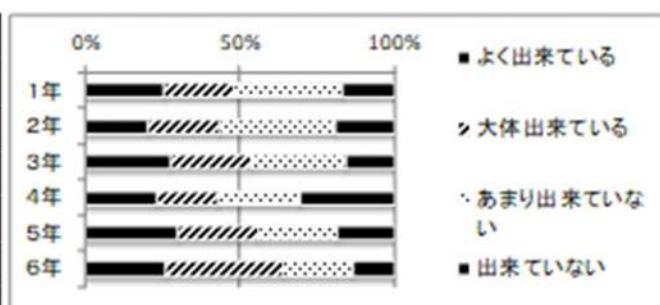
保護者（重要度、実現度）・児童・教職員回答比較

重要度	実現度			
	保護者	児童	教職員	
1 学 めあてをもってすんで学習に取り組むこと	6.5	4.9	5.6	5.6
2 学 すすんで家庭学習に取り組むこと	6.3	4.9	5.4	5.2
3 学 すすんで読書すること	6.3	4.2	5.2	5.2
4 学 授業や家庭学習で、基礎学力を身につけること	6.6	5.1	5.6	5.5
5 学 授業や家庭学習で、話す、聞く、書く等、言語能力を身につけること	6.6	5.1	5.6	5.2



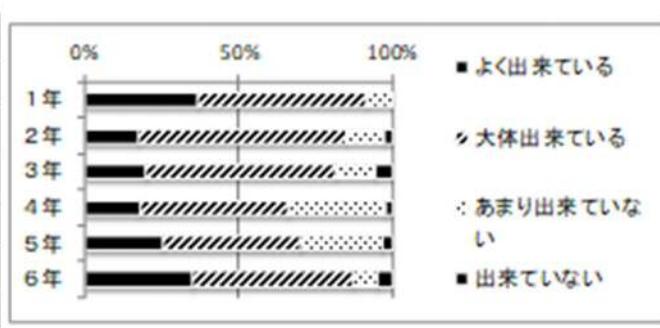
「確かな学力」に関わる5つの項目では保護者アンケートでは全ての項目で前期と同じか0.1~0.2ポイント上回る評価でした。教職員アンケートも同様に、前期より高い評価となっています。一方で児童アンケートは、保護者、教職員よりも高い評価であるものの、前期より0.1~0.3ポイント下がる結果となりました。特に「すすんで読書している」が0.3ポイント下がったのは意外な結果でした。学校図書館の利用者数や1年で100冊(又は1万ページ)読破した児童数は年々増えています。教職員アンケート、保護者アンケートではどちらも、0.1ポイントアップしており、明徳校の児童は読書が好きになっているととらえていました。ここで、児童の個人差が大きい結果も確認できましたので、これからも読書の楽しさを伝え、どの児童も読書に親しめるよう、さらに取組を続けていきます。

3		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来っていない
		1年	2年	3年	4年
すすんで読書をしている。	1年	21	19	29	14
	2年	15	17	27	14
	3年	21	20	23	12
	4年	13	11	15	17
	5年	20	17	17	12
	6年	16	23	14	8



今年度は、授業参観を実施することができず、教室での子どもたちの学びの様子を見ていただくことができませんでした。そのような中でも「授業や家庭学習で、基礎学力が身についてきている」に児童、教職員だけでなく保護者の方々からも「5.0」に近い高い評価をいただいています。また、一般的には下がりがちな6年生での評価が高いのも嬉しいことです。これに安心することなく、次年度も子どもたちがすすんで学習に向かい、確かな学力を身につけられるよう授業づくりに取り組んでいきます。また、家庭学習についても、内容や量を学年ごとに見直し、明徳小学校としての家庭学習のガイドラインをお知らせします。ご家庭でもご協力いただきますようお願いします。

4		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
		1年	2年	3年	4年
授業や家庭学習で、基礎学力が身についてきている。	1年	31	46	7	0
	2年	13	50	9	2
	3年	15	47	10	4
	4年	10	27	18	1
	5年	17	30	18	2
	6年	22	33	5	3



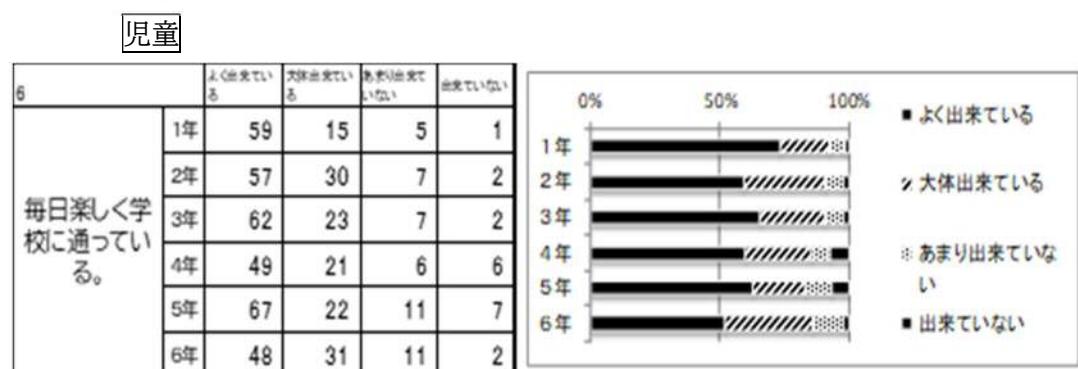
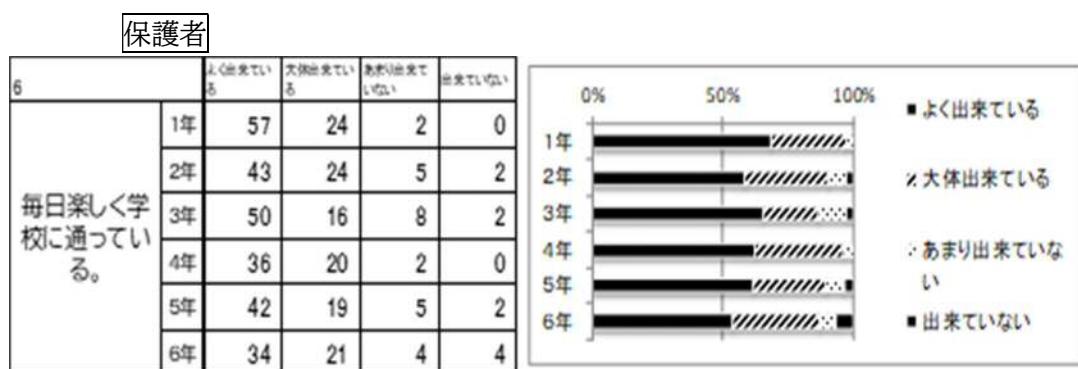
【豊かな心】

		重要度	実現度			
			保護者	児童	教職員	
6	心	毎日楽しく学校に通うこと	6.7	6.0	5.9	5.7
7	心	自分からすすんで挨拶をすること	6.6	4.9	5.9	4.5
8	心	様々な場面で、はきものをそろえること	6.3	3.9	5.3	4.4
9	心	友だちを大切にすること	6.8	5.9	6.5	5.4
10	心	自分のよいところや得意なことを言えること	6.3	4.9	5.4	5.1
11	心	学校や家庭、交通のルールを守ること	6.7	5.4	6.0	4.8

「毎日楽しく学校に通っている」は、保護者、児童、教職員の結果がそろって高いものとなりました。そろって「6.0」に近い評価はたいへん嬉しいものです。多くの行事や取組が実施できなかった一年でしたが、日々の学校生活に楽しみを見つけてくれた子どもたちと、それを支えてくださった保護者の皆様に感謝いたします。

一方で、この項目は、「1. よくできている」の回答が多いため「3. あまりできていない」「4. できていない」の回

答が一定あっても数値が高くなります。ここで「4. できない」と回答している児童があることを重く受け止め、子どもたちにとって「通いたい学校」になるように努めます。



「自分からすすんであいさつをする」「はきものをそろえる」は、以前から児童は高い評価であるのに、大人の評価は低くなります。今回も同様でした。子どもは、やっているつもりでも、大人から見ると、まだまだとの評価でしょうか。これまでの取組の中で、「あいさつ」はその子なりの精一杯の姿が見られます。「はきもの」は個人差の大きいところです。「あいさつ」も「はきもの」も、まずは『率先垂範』。大人が気持ちよいあいさつ、そろえられたはきものを見せ、その心地よさを子どもたちに見せるところからだと思います。学校では教職員が、家庭では保護者が範を示していきたいところです。

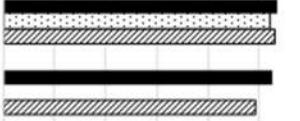
「友達を大切にすること」は、保護者、教職員共に重要度が最も高い項目です。ここと同じ意識で取り組めるのは大切なことです。実現度も児童、保護者アンケート共、他の項目比べて群を抜いて高い評価となりました。教職員アンケートの評価も5.4と高い数値ですが、前期に比べて0.5ポイント下がりました。「学校や家庭、交通のルールを守ること」の教職員アンケートも今回、前期に比べて0.5ポイント下がっています。後期に、児童間のトラブルやルールの面で指導しなければならなかったことが多かったのかもしれません。友達にやさしい明徳の子どもたちです。指導の必要な場面では、機を逃すことなく丁寧に対応していくように努めます。

【健やかな体】		重要度	実現度			■ 保護者 □ 児童 △ 教職員
			保護者	児童	教職員	
12	体	すききらいせず、バランスよく食事をすること	6.2	5.0	5.5	5.2
13	体	外遊びなど、すくんで運動をすること	6.3	5.0	5.5	4.4
14	体	早ね、早起き、朝ごはんをしっかり食べる等、規則正しい生活をすること	6.5	5.2	5.5	5.5

健やかな体に関わる項目は、例年、寒くなる後期には評価が下がる傾向にあります。今年度は、大きな変化は見られませんでした。教職員アンケートの「外遊びなどすんで運動をする」以外は全て「5.0」を上回る高い評価でした。「早寝早起き朝ごはんをしつかり食べる等、規則正しい生活をする」をはじめ、健康な身体づくりは、子どもたちの生活を支える根幹となるものです。ゲームやスマホが生活の中心となり、子どもの睡眠時間が短くなっているという調査結果もあります。学校では長期休業の後など、生活リズムが崩れやすい時期に「生活点検」をして規則正しい生活を意識づけるようにしています。ご家庭でもそれぞれのお子様に合った生活リズムを整えられるようお声かけをお願いします。

【開かれた学校】

	重要度	実現度			■ 保護者 □ 児童 □ 教職員
		保護者	児童	教職員	
15 開	子どものことで気になることがあれば、担任(学校)に気軽に相談できること	6.3	5.4	5.2	5.3
16 開	学校からのおたよりやホームページで、学校の様子がよくわかること	6.1	5.3	###	4.9



今年度は、家庭訪問も実施できず、2月にようやく学級懇談会をもつことができました。保護者の皆様にとって学校が遠い存在になっているのではないかと心配していました。しかしながら、今回のアンケート「気軽に担任(学校)に相談できる」で見る限り、保護者では0.2ポイント、教職員では0.4ポイント上がっており、他の項目に比べても高い結果となりました。「会」は設けられなくても、日頃から教職員と保護者が気軽に話ができるのは大切なことです。これからも心配事があれば、溜めこむことなく学校へご相談ください。一方、児童は0.1ポイント下がっています。また、他の項目に比べて低い評価となっています。前期より担任にも慣れたはずのこの時期にこの結果は教職員が反省すべきところです。いつでも声をかけやすい雰囲気をもって児童に接するように努めなければなりません。

「おたよりやホームページで学校の様子がよくわかる」についても前期と同様に高い評価をいただいています。コロナウイルス感染症の感染状況や学級閉鎖等の状況については、詳らかな公表を行っていなかったことでかえってご心配をおかけしたことがあったことと承知しています。数字や不要な情報が個人情報を侵しかねないという観点から、全市立学校一律に同じ対応をとっていますこと、ご了承ください。今年度、参観や行事が大々的に実施できなかった分、ホームページでできる限り子どもたちの様子をお知らせしてきました。今後も担任の負担にならない範囲で、更新してまいります。

今回の学校アンケート結果をもとに、今年度の取組を見直し、次年度、子どもたちがさらにいきいきと活動し、力をつけていけるように教職員一同、取組をすすめていきます。そしてそれは、保護者の皆様、地域の皆様との連携あって成り立つものです。今後とも、どうぞご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。